

科 目 名	学校体験活動				
配 当 学 年	3 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	実習	単 位 数	1 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	宮嶋 衛次		単位認定責任者	宮嶋 衛次	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	学校体験活動について、学校現場での実践をもとに指導・助言を行う。				
授業科目の概要	小中学校での学習ボランティアと学校インターンシップのための準備と心得を確認し、これらの学校体験では児童生徒との接し方や指導上の留意点、教職員の仕事内容等を体験を通して学ぶ。				
授業科目の到達目標	<p>1 学校体験活動の意義を確認し、教員の仕事内容と教員として必要な資質能力について体験を通して把握し、記述することができる。</p> <p>2 体験活動では、児童・生徒とのコミュニケーションを図り、適切に指導することができる。</p> <p>3 児童生徒への学習指導を通して、児童の学力を向上させることができる。</p> <p>4 体験活動では、教職員とのコミュニケーションを図り、報告・連絡・相談を適切に行うことができる。</p> <p>5 体験活動では、学校の意義について体験を通して理解し記述することができる。</p>				
学修成果評価項目 (%) および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	0 %			
	専門知識	20 %	レポート、プレゼンテーション、取組状況		
	倫理観	25 %	レポート、プレゼンテーション、取組状況		
	主体性	20 %	レポート、プレゼンテーション、取組状況		
	論理性	10 %	レポート、プレゼンテーション		
	国際感覚	0 %			
	協調性	5 %	取組状況		
	創造力	10 %	プレゼンテーション、取組状況		
責任感	10 %	取組状況			
授業の展開					
1.	ガイダンス（学校体験活動の意義・内容の指導）				
2.	学校体験活動の心得・・・学校体験活動中のルールとマナー				
3.	学校体験活動①・・・学校教育環境の把握と理解				
4.	学校体験活動②・・・学校教育課程の理解と研究				
5.	学校体験活動③・・・学級経営の実習				
6.	学校体験活動④・・・学習指導方法の理解				
7.	学校体験活動⑤・・・学習指導の体験活動				
8.	学校体験活動⑥・・・授業補助実習①（観察・参加）				
9.	学校体験活動⑦・・・授業補助実習②（実践）				
10.	学校体験活動⑧・・・特別活動、生徒理解の実習活動				
11.	学校体験活動⑨・・・授業補助実習③（実践・・・ICT活用含む）				
12.	学校体験活動の反省記録の作成				
13.	学校体験活動の成果と課題①・・・グループワーク				
14.	学校体験活動の成果と課題②・・・ロールプレイ				
15.	学校体験活動発表会と振り返り				

授業外学習について	小中学校学習ボランティアは、夏季休業、冬季休業中にそれぞれ1回ずつ実施する。学校インターンシップは3年次夏季休業中に実施する。 <授業外学習> 児童生徒の指導についてロールプレイをすることで場面指導の準備をすること。				
教科書	学習指導要領（文部科学省） 生徒指導提要（文部科学省）				
参考文献	・必要に応じて、授業時に適宜指示する。				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	×	○	○	○
成績評価の割合	0 %	0 %	25 %	25 %	50 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<p>【プレゼンテーション】</p> <p>学校体験活動の内容、成果と課題についてプレゼンテーションを行う。</p> <p>【レポート】</p> <p>学校体験活動の内容、成果と課題についてレポートを課す。</p> <p>【取組状況】</p> <p>活動校での取組状況や日誌の記入状況を評価する。</p>				

（学校体験活動）